

「 むごい教育 」

長与町立長与北小学校
校長 近藤 徳雄

「北小子ども祭り」「がんばらんば大会 開会式・応援」と子どもたちの活躍や、成長の姿を見ることの出来る日々が続き、とても嬉しく、心強く思っています。子どもたちに関わり、支え、指導していただいた皆様方に心から感謝いたします。

さて、最近の楽しみの一つに日曜日の大河ドラマ「軍師 官兵衛」を見るがあります。戦国末を迎え、安土桃山から徳川へと天下が移っていく時代が描かれ始めました。それを見ながら、随分前に聞いたことのある「徳川家康へのむごい教育」という話を思い出しました。

幼少の徳川家康が、駿河の国を治めていた今川義元の人質だった頃の話です。

義元は、家来に「竹千代（家康の幼名）には、むごい教育をせよ」と命じます。

しばらく経った後、義元は家来を呼び、竹千代の日常について報告させます。

家来は、「早朝から起こし、水練をさせ、三食は粗食を与え、昼は馬術や剣術で鍛え、夜は学問と、休む間もなく厳しく教育しております。」と報告します。

報告を聞いた義元は、ものすごい勢いで怒ります。「馬鹿者！ それはむごい教育とは言わん。朝は好きなだけ長寝させ、贅沢な食事を与え、武術や学問が嫌と言えば、決して無理強いせず、本人の望む通りに、何でも与えてやるが良い。そうすることがむごい教育なのだ。」と。

家来は、ここまで聞いて、やっと義元の真意に気付いたと言います。隣国の大将となる竹千代を、従順で決断力もなく、辛抱も出来ない臆抜けた駄目な人間に仕上げようと考えていたのです。

さてさて、自分自身を振り返ったとき、子どもに対して「むごい教育」をしてこなかったかと反省させられます。

- 泣くほど嫌いなものは無理して食べなくていいよ。
- 気が乗らないことだったら無理してしなくていいよ。
- 我慢してがんばらなくても思い通り好きにしていっていいよ。
- できないことがあれば、大人の私が代わりにしてあげるよ。
- 困ったことが起こったら、大人の私が代わりにやってあげるよ。
- 誰かとけんかしたのなら、先生が代わりにきつく指導してあげるよ。等々

本来、子どもの成長は、「自立した一つ的人格として社会を生き抜いていける力」を身につけさせる方向を向くべきです。気づかぬうちに「むごい教育」をすることなく、「生きる力」を身につけた子どもたちを育てて行きたいと思えます。